

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	99	市民管弦楽団事業	01	01	一般会計
基本施策	35	文化芸術により、豊かな感性と創造性を育む	02	02	総務費
担当部課名		企画振興部 文化国際課	01	01	総務管理費
作成者氏名	松本 博臣	連絡先	07	07	文化振興費
		22-9624	101	101	文化振興経費
			01	01	文化振興一般経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
事業の目的	市民及び管弦楽団員	市民管弦楽団の音楽活動により、伊賀市民に管弦楽団を楽しんでもらい、音楽文化の向上が図られる。
本年度事業内容	市民管弦楽団助成	
開始年度	平成 15 年度	終了年度 平成 19 年度
	根拠法令・要綱等	

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.02	0.02	0.02
人件費合計(A)	144	144	144
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	1,800	2,000	2,200
補助金	1,800	2,000	2,200
その他			
合計(A+B)	1,944	2,144	2,344
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
受益者負担	0	0	0
その他特財	1,800	2,000	2,020
一般財源	144	144	324
上記①～③に関する特記事項	文化振興基金		

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
市民管弦楽団助成	千円	1,800	2,000	2,200			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
市民管弦楽団演奏会入場者数	平成17年度比20%増	人	500 目標 ( )	600	720
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

市民管弦楽団員が徐々に増加してきているが更に増員をする必要。室内楽等のミニコンサート、依頼演奏により活動を広める。
---

評価	必要性	4	事業の進め方の改善の検討	総合評価
	有効性	3		B
	達成度	2		
	効率性	3		